

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

優秀な自衛官を目指して



3月9日、末吉総合センターで「平成21年度自衛隊入隊・入校者壮行会」が行われました。

平成21年度の曾於市からの自衛隊入隊・入校者は、陸上自衛隊や海上自衛隊に10人が入隊。壮行会で入隊者の自己紹介や祝辞などが行われた後、新入隊者を代表して山ノ内淑記さんが「それぞれ勤務地は違いますが、曾於市出身者としての誇りを持って、全国で活躍できるようがんばりたい」と話されました。

その後、新入隊・入校者から曾於市へ桜の木1本の記念品贈呈が行われ、末吉総合センター駐車場で桜の記念植樹を行い、桜と共に自衛官としてのお互いの成長を誓い合いました。

男女共同参画社会づくりに向けての提言書を提出



3月29日、男女共同参画推進懇話会の三浦芳子会長と岩切章一副会長が市長室を訪れ、「曾於市男女共同参画社会づくりに向けての提言書」を提出されました。

この提言書は2回目の提出で、今回は、平成20年3月に策定された男女共同参画プランの進捗状況を確認した上で、今後の事業推進に向けた提言書を池田市長へ手渡しました。

内容は、DV被害者支援に向けての相談体制の整備、審議会等への女性委員の登用率40%達成に向けた計画的な取組、市女性職員が全体数に占める2割程度の管理職等への配置、県子育て支援パスポート事業の推進、農林業・商工自営業女性の方針や経営決定過程への参画を促進する取組など14項目が盛り込まれたものです。

池田市長は、この提言書に対して「項目ごとの課題点を充分検討し、積極的に取組んでいきたい。」と話しました。

末吉救急分駐所開所



4月1日、旧末吉駅前で末吉救急分駐所の開所式がありました。

この分駐所は、昨年4月から1年間、末吉中央公民館で試行運用をしてきたものを本格稼働する為建てられた施設で、高規格救急車1台と11名の職員を配置し、3名の職員により24時間体制で勤務を行うということです。

開所式の後配置される職員により緊急出動訓練が披露されましたが、きびきびとした行動と確認の声掛けなど本番さながらの白熱した様子に、会場からはどよめきの声も聞かれました。

この旧末吉駅前に分駐所が出来たことで、1分1秒が生死に関わる緊急の事態に、レスポンスタイム(救急車が現場に到着する時間)が短縮し、住民の安心・安全が確保されます。

ミニ弥五郎どんでPRを



4月5日、市役所に岩川八幡神社弥五郎保存会(中迫勇会長)の皆さんがミニ弥五郎どんを持って来庁しました。

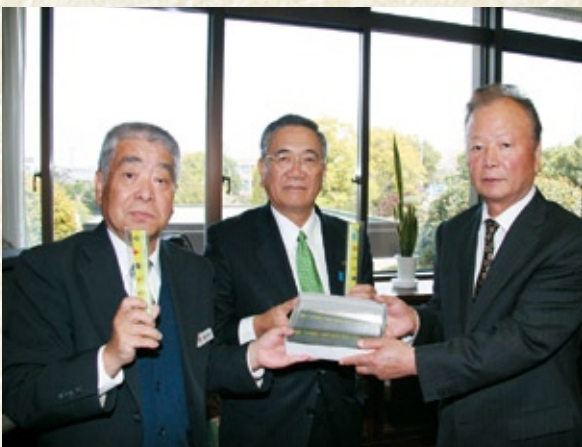
このミニ弥五郎どんは、今回の弥五郎IC開通を記念して今後益々弥五郎どんをPRしていきたいということと、後世に弥五郎どん製作のノウハウを伝授できないかということで製作されたものです。

それと同時にミニ弥五郎どんならどこにでも持っていけるので、手軽にPR活動ができると期待されています。

今回、この製作には保存会のメンバーが参加し、着物やお面などの製作協力をいただきながら、身の丈2分のミニ弥五郎どんが完成しました。

このミニ弥五郎どんは、市役所末吉支所、商工会大隅支所、八幡神社等に展示しています。皆さんも小さくても勇ましい弥五郎どんをぜひご覧下さい。

新入生に交通ルールの認識を



4月7日、鹿児島県トラック協会曾於支部の川越金蔵さんが市長室を訪問し、曾於市内の新入生に定規の贈呈をしました。

この定規には、基本的な交通標識が描かれており、小学校1年生の子供たちが学校や家庭学習の中で、少しでも目に触れてもらい交通ルールを守っていただけるため贈らたものです。

この贈呈は20数年続けられていて、その間小学1年生の事故は、1件も起きてないそうです。協会としても黄色い帽子やランドセルカバーなどをした子供達には、特に注意するようにいつも指導しているそうです。

鹿児島県トラック協会では、この取組みの他エコドライブコンテストなど沢山のイベントを開催し、交通事故を減らす活動を進めているそうです。

エイサー踊りで出発式盛り上げる



4月6日、曾於警察署で、春の全国交通安全運動・地域安全運動出発式が38団体、287名参加のなか盛大に開催されました。

はじめに安心・安全に寄与した団体の表彰があり、市長から「全国的にはいろいろな犯罪が横行しているが、曾於市は、子供達や高齢者を含め皆が安心・安全で暮らせる住みよい街にする為皆さん一丸となって頑張ります」という話がありました。

その後、出発号令前には大隅町月野の正心保育園の子供達による「エイサー踊り」の披露があり、出発式を大いに盛り上げてくれました。

この子供達が安心して健全に育っていける環境をみんなで作っていただければいいですね。

溝ノ口岩穴祭り



4月11日、県の天然記念物に指定されている財部の溝ノ口洞穴で、溝ノ口岩穴祭りが開催されました。

この祭は、島津氏の戦勝祝いに始められたと言い伝えられている奴踊りと棒踊りを洞穴と洞穴前に鎮座する岩穴観音に奉納する伝統行事。奴踊りは、地元の中谷小学校児童が継承し、可愛い舞を奉納しています。また勇壮な棒踊りも地元溝ノ口の保存会の皆さんが継承し、奉納しています。

当日は春らしいぽかぽか陽気の中、三味線や太鼓の軽快なリズムに合わせて踊りが奉納されると、訪れた観衆から惜しめない拍手が送られました。

小倉綾華さん（2年生）は「最初はむずかしかったけど2ヶ月間教えてもらって今日うまくなりました。

来年はもっと上手になりたいです。」とうれしそうに話してくれました。

～地上デジタル放送受信のための支援のご案内～

経済的な理由で地上デジタル放送がまだ受信できない方に

**総務省では、地上デジタル放送
簡易チューナーを無償給付します。**

- ・生活保護などの公的扶助を受けている世帯
- ・障がい者がいる世帯で、かつ世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯
- ・社会福祉事業施設に入所されていて自らテレビを持ち込んでいる世帯

上記の世帯の中でNHKの受信料が全額免除されている世帯が対象です。

申込受付期間 平成22年4月19日～
平成22年7月2日（消印有効）

お問い合わせ先

総務省 地デジチューナー支援実施センター
ナビダイヤル：0570-033840
ナビダイヤルが利用できない場合
044-969-5425